



発行所
 公益財団法人 漁船海難遺児育英会
 〒101-0047 東京都千代田区
 内神田1丁目2番1号
 ダコタハウス5階
 電話 03 (3518) 6121
 FAX 03 (3518) 6122
 E-mail: mizuuro.ikuei@eos.ocn.ne.jp
 水色の羽根募金運動

2016年度通常理事会

5月26日、『2016年度通常(第1回)理事会』を東京・千代田区のコープビルにて開催しました。開会に先立ち、鈴木俊一理事長より、「本会が公益財団法人としてスタートしてから丸4年を迎えたが、2015年度においては、事業運営・機関運営ともに滞りなく行うことができた。これもひとえに役員各位のご協力によるものと深く感謝している。また、漁船海難遺児を励ます第9期募金運動の最終年度となる3年目の実施は、運動前実績に比べ133%と増加した。これは関係各位のご協力のものと、全国規模で運動を展開したことや、水産関連団体、個人の継続的な寄附・募金によるものであり、皆さまからの温かいお志

2016年度定時評議員会

6月16日、『2016年度定時(第1回)評議員会』を東京・千代田区のコープビルにて開催しました。

会議では、①2015年度事業報告(案)および収支決算(案)について、②任期満了に伴う評議員(再任18名、新任1名)の選任について、③辞任に伴う後任理事(1名)の選任について審議され、全員異議なく承認可決されました。

【新任者(芳名)】

▽評議員―古寺建二氏(全国漁業共済組合連合会常務理事)
 △理事―石山新悟氏(一般社団法人漁業経営安定化推進協会理事兼事務局長)

に改めて感謝を申し上げます。なお、いまだ漁船海難事故が絶えない中、引き続き本会では、漁業者のライフジャケット着用率の向上に努めていきたい」と挨拶があり、会議では、①2015年度事業報告(案)および収支決算(案)について、②特定資産の処分について、③任期満了に伴う評議員候補者の推薦について、④辞任に伴う理事候補者の推薦について、⑤辞任に伴う奨学生選考委員の選任について、⑥2016年度定時(第1回)評議員会の招集に関する件

▽宮澤敏彦(全国共済水産業協同組合連合会常務理事)



◆今回をもって評議員・理事・奨学生選考委員を辞任された皆さまには、これまでのご尽力に改めて感謝申し上げます。

2016年度臨時(第2回)理事会

6月22日(同意日)、『2016年度臨時(第2回)理事会』を書面決議により開催し、専務理事(業務執行理事)の選定について理事の同意、監事に確認を求め、全員の同意確認を得、承認可決されました。

2015年度事業の概要

【1. 学資給与事業】

学資給与事業では、給与奨学生221名に学資給与金5,918万8千円を給与し、入学記念品として43名に227万円を贈呈し、総額6,145万8千円を送金しました。(表1)

【2. 奨学金貸与事業】

奨学金貸与事業では、貸与奨学生28名に奨学金貸与金1,675万円、入学一時金として3名に150万円、総額1,825万円を貸与しました。(表2)

【3. 育英事業推進事業】

①募金活動
 漁船海難遺児を励ます全国協議会及び水産関係団体の協力を得て、第9期募金活動(3か年)の3年目を推進し、基盤強化を図った。

②普及指導活動

ア. 「育英会だより」の発行
 イ. 広報・募金コーナー設置活動
 ウ. 漁船海難遺児育英事業事務担当者会議の開催
 エ. 奨学生・保護者交流活動の実施

本年度で第5回の開催となる奨学生・保護者を対象とした交流活動「2015 ふれあい旅行」を静岡県掛川市周辺で実施。参加者は奨学生11名、保護者8名の計19名であった。
 オ. 文集の作成配布

育英会設立45周年にあたり、第9作目となる「漁船海難遺児と母の文集・父の背中」を作成し、奨学生及び関係者に配布した。

カ. 広報活動

事業の趣旨及び内容について広く一般国民の理解を得るため、機会あるごとに資料の配布や報道機関等の協力を得てPRを行い、募金及び「励ましおじさん・おばさん」の募集に努めた。
 また、ホームページを用いた事業運営や活動について情報公開するとともに広報活動を行った。

【学資給与・奨学金貸与事業金額表】 (単位:円)

		幼児(3~5歳)	小学生	中学生	高校生等	大学生等
給与	月額	12,000	13,000	24,000	30,000	
	入学記念品		70,000	50,000	50,000	
	卒業記念品(就業する者)			70,000		
貸与	月額					50,000
	入学一時金					500,000以内

注1: 特別支援学生には、高校生等と同額の月額を20歳(条件あり)まで支給。
 注2: 貸与金は20年以内に無利息で返還

(表1) 学資給与事業の実績 (単位:千円、人)

学区	月額給与金	入学記念品	卒業記念品	計	年度末人数
幼児	1,968	-	-		14
小学生	9,412	420	-		62 (1)
中学生	19,008	850	-		66
高校生等	28,800	1,000	-		79 (2)
合計	59,188	2,270	-	61,458	221 (3)

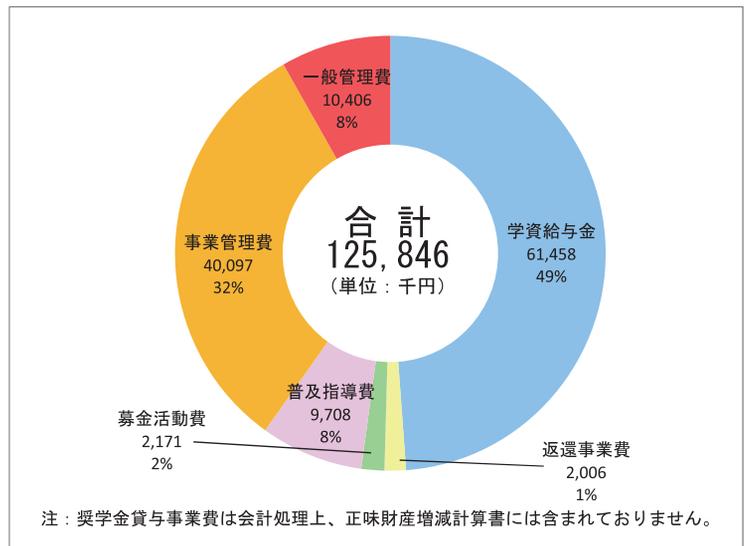
注1: 年度末人数の()内の数字は特別支援学生数で内数である。特別支援学生は高校生等と同額を支給しているため、月額給与額は高校生等に含まれる。

(表2) 奨学金貸与事業の実績 (単位:千円、人)

学区	月額貸与金	入学一時金	計	年度末人数
大学生等	16,750	1,500	18,250	29【1】

注: 年度末人数の【】内の数字は入学一時金のみ奨学生数で内数である。

図1 正味財産増減計算書(経常費用)



注: 奨学金貸与事業費は会計処理上、正味財産増減計算書には含まれておりません。

図2 中学校卒業生(30名)

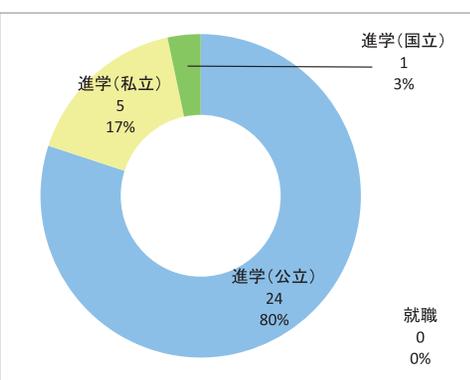


図3 高校等卒業生(32名)

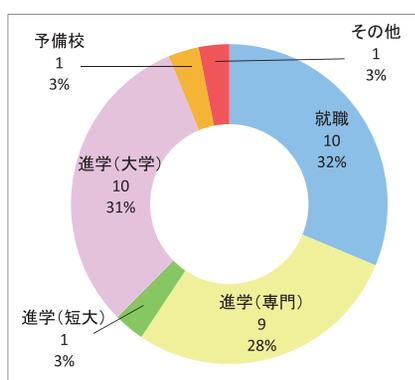
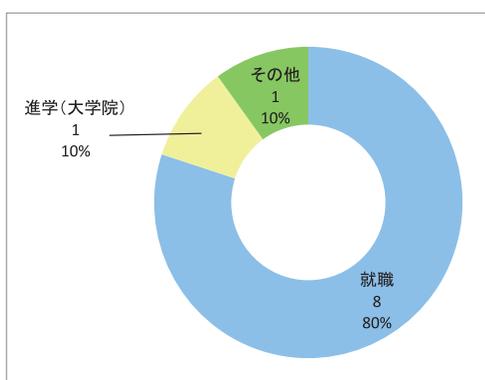


図4 大学等卒業生(10名)



③実態調査
 中・高・大学生等の卒業生の進学・就職に関する動向等、卒業後の進路を調査した。(図2~4参照)
 ④寄附金
 東日本大震災後、水産業を取り巻く環境が厳しい中ではあったが、5,465万1千円の寄附が寄せられた。

2016年度 第1回奨学生選考委員会

5月11日、『2016年度第1回奨学生選考委員会』を東京・千代田区の本会事務所にて開催し、「奨学生出願者（4月25日締切）」の選考について審議しました。この結果、学資給与奨学生として幼児2人、小学生2人の合計4人、並びに奨学金貸与奨学生として大学生等8人を採用しました。

なお、新規奨学生を加えた6月末現在の奨学生数は、別表（最終頁記載）「都道府県別奨学生数」とおりです。



第66回 浅海増殖研究発表全国大会



6月2日、京都府京都市中京区の「京都府立総合社会福祉会館」にて『第66回浅海増殖研究発表全国大会（浅海増殖研究中央協議会・全国海苔貝類漁業協同組合連合会共催）』が開催され、全国から海苔生産者等約200人が集結しました。

この大会はノリ生産者をはじめとする浅海増殖業者の年に一度の祭典として、第1回大会が1951年（昭和26）に水産庁会議室で開催されて以来毎年開



▶本会奨学生へキティちゃんの（ぬいぐるみ型）お守りを寄与していただいた錦天満宮へお礼参りに伺わせていただきました。

催されております。これまで続いてきた全国大会は、漁業者同士の交流の場として、またネットワーク作りの場として大いに役立ち、特に若いノリ生産者の方には、発表された数多くの成果を引き継ぎ、更に発展向上と浅海漁業の振興に寄与することを目的に行われています。

本会においては、大会主催者ご協力のもと、会場入口にて募金活動を行わせていただき、来場された皆さまより温かいご支援をいただくことができました。

ご協力いただいた多くの皆さまに心より御礼申し上げます。

奨学生からのお便り

＊楽しみにしていた高校生活も充実しています。上を目指してがんばっていきましょう。希望は保育士です。（宮城県 高1）

＊無事、志望校に合格できました。勉強、頑張ります。（佐賀県 高1）

＊ふれあい旅行にいけないと思うとさみしいです。長野に行った時のおやきづくりがたのしかった。最高に思い出になりました！（岡山県 高1）

＊いつもありがとうございます。この春から無事に高等学校に通わせて頂いております。（鳥取県 高1）

＊いつもお世話になってます。お蔭様で希望した高校に入ることができました。（長崎県 高1）

＊大学進学に向けて、勉学に励みます。（福島県 高1）

＊この春無事に高等学校を卒業することが出来ました。漁船海難遺児育英会の奨学金制度のお陰でたくさんの貴重な体験や学習を受ける事ができました。これからは、自分の体験などをもとに人のお役に立てる様、より努力し、恩返しをしていきたいです。長年のご支援ありがとうございます。感謝をわすれずにがんばります。（兵庫県 大1）

保護者からのお便り

＊長い間の学資給与金。本当にありがとうございました。息子が高卒で無事の就職することが出来ました。節目の年でもあり、これからの頑張りを見守り続けようと思っております。感謝致します。（北海道）

＊育英会には、これまで大変お世話になりました。心より感謝致します。主人が亡くなった時、6才と3才だった息子たちも大きくなり、長男は大学3年に、二男も大学入学することになりました。長年にわた

り、ご支援ありがとうございます。（北海道）

＊お陰様で高校を卒業する事が出来ました。皆様ありがとうございます。（宮城県）

＊長い間、大変お世話になりました。また息子の次のステージに向けての奨学金貸与が、ずいぶん親も心強いです。2才で父をなくし、父は全く思い出さず顔も思い出せな息子ですが、突然、海関連の学部へ進学を希望。父の血が流れていることを実感しました。海のことを学び、少しでも皆さんに恩返しできたらいいと思います。送り出しました。目の奥がキラキラ輝く息子をみて、キラキラ輝く海を、目を細めてみていた主人を思い出しました。海よりバンザイ!!!（山口県）



＊希望大学に無事入学することができました。慣れない事ばかりで毎日大変なのですが、自分なりに頑張っています。（愛媛県）

＊長い間大へんお世話になりました。専門学校で警察官を目指すクラスでがんばると申しております。本当にありがとうございます。（山口県）

＊今まで学資給与を頂いたお陰で、本人の希望する学校へ進学できる事になり、本当に感謝しております。本当にありがとうございます。（兵庫県）

寄附者からのお便り

＊もうすぐ大津波が来た震災。いまだに黒い波のすごさが目にやきついています。（埼玉県）

＊出逢いと別れの季節。遺児達の幸。心より祈っております。（千葉県）

＊新緑の頃。遺児達。明るく元気にならば。健康と幸。祈っております。（千葉県）



ご寄附のお礼

2016年3月から2016年5月までに寄附を頂いた皆さまのご芳名（敬称略）を掲げ、厚くお礼申し上げます。

励ましおじさん・おばさん

- 〔3月〕◎北海道▽加藤茂子▽本間雅彦▽山口きよ◎岩手県▽長澤浩美◎宮城県▽鎌内浩▽島山和子◎茨城県▽常盤和己▽藤本歌子◎埼玉県▽古関和則▽小林哲朗▽田口昭博▽濱田研一▽松本安裕◎千葉県▽伊賀久則▽猪苗代健一▽大類裕久▽坂口はつ子▽平田淳一▽宮澤敏彦▽若林満◎東京都▽飯島孝夫▽勝野輝美◎横浜市代表取締役磯野洋志▽木部茂徳▽古田土満▽佐藤一雄▽ターボマシンジャパ(株)▽高田明生▽戸田満弘▽長屋信博▽根本京子▽廣重和夫▽本川一善▽松井明▽水田正和▽向井昌子▽渡辺千鶴子◎神奈川県▽大森敏弘▽越智豊子▽佐藤明美▽正木勝美◎静岡県▽古寺建二◎山口県▽熊谷佐枝子

水色の羽根募金

- 1、漁協系統募金（各都道府県の漁連、信漁連等で構成する「漁船海難遺児を励ます地方協議会（略称：地励協）」等で取り扱った分、一般寄附を含みます。）
- 〔3月〕◎北海道▽大成大水産代表取締役國分一夫▽漁船海難遺児を励ます運動北海道特別委員会▽胆

振地区漁協青年部連絡協議会―第50回JF胆振地区漁協青年部記念大会募金◎青森県▽(株)ホリエイ代表取締役堀内精二▽三沢ほつきまつり実行委員会▽青森県漁協女性組織協議会―第57回青森県漁村青年女性団体活動実績発表大会募金/県内各女性部◎宮城県▽漁船海難遺児を励ます宮城県協議会◎山形県▽JFやまがた◎千葉県▽新勝浦市漁協女性部▽勝浦漁協女性部▽JF銚子市◎東京都▽JF東京漁連▽JF全国女性連◎神奈川県▽JF横浜市金沢支所―金沢漁港海産物フェスタ募金▽漁船海難遺児を励ます神奈川県協議会◎新潟県▽(財)新潟県協議会◎新潟県協議会◎富山県▽漁船海難遺児を励ます富山県協議会◎静岡県▽JF静岡漁連▽静岡県漁連焼津地区運営委員会▽JF大熱海▽南駿河湾漁協吉田支所女性部◎愛知県▽愛知県漁船海難遺児育英手当基金◎福井県▽漁船海難遺児を励ます福井県協議会◎三重県▽漁船海難遺児を励ます三重県協議会◎京都府▽漁船海難遺児を励ます京都府地方協議会◎兵庫県▽JF伊保▽JF育波浦▽JF一宮町▽JF仮屋▽JF若見▽JF高砂・松本好生▽JF室津▽JF洲本炬口▽JF沼島▽JF西二見▽JF但馬▽JF東播磨▽JF南あわじ▽JF播磨町▽JF姫路市▽JF浜坂▽JF富島▽JF兵庫▽JF兵庫漁連▽JF湊▽JF明石浦▽JF林崎◎和歌山県▽たこやきスマイル▽まぐろ祭り実行委員会委員長長花井啓州▽加太漁協女性部▽JF勝浦女性部▽JF太地町▽田辺農林水産実行委員会▽和歌浦漁協女性部―しらす祭り▽JFわかやま女性連▽JF和歌山東本部(女性部)▽下田支所◎鳥取県▽JF鳥取◎島根県▽漁船海難遺児を励ます島根県地方協議会◎山口県▽山口県漁協東和町青年部・浮島青年部・田布施青年部・下松青年部・小野田青年部・檀之浦青年部・彦島青年部水産研究会・下関南風泊青年部水産研究会・伊崎青年部・蓋井島青年水産研究会・豊

浦統括青年部・通青壮年部橘会・仙崎地区青年部・野波瀬青年部・湊青壮年部・玉江浦青年部・大島漁村青年部・須佐青壮年部・吉佐青壮年部▽大島漁協青年部▽新宇部漁協青年部▽角島漁協青年部▽JF山口県女性部▽山口県漁連青柳井支部▽山口県漁協青壮年部連合会本部・下関支部▽JF山口仙崎支店◎愛媛県▽JFうわみ▽えひめ海づくり基金▽パールフェア▽JF愛南▽愛媛県漁業共済組合▽JF愛媛漁連職員▽愛媛県漁業信用基金協会▽愛媛県漁船保険組合▽JF愛媛信漁連親睦会▽愛媛県青年漁業者連絡協議会▽JF伊予▽JF宇和島▽宇和島真珠養殖漁業者グループ▽宇和島浮敷網組合▽JF下灘▽JF下波▽嘉島魚類部会▽JF関前村▽JF岩城生名▽JF菊間町▽JF吉田町▽JF久良▽JF宮窪町▽JF弓削▽漁船海難遺児を励ます愛媛県協議会▽JF高浜町▽JF今治▽JF三浦▽JF三崎▽JF三島▽JF松山市▽JF上灘▽JF新居浜▽JF壬生川▽瀬尾一雄▽JF西条市ひうち▽JF西条市▽JF大三島▽JF大浜▽JF中島▽JF長浜町▽JF津倉▽JF伯方町▽JF北条市▽JF北灘▽JF明浜▽JF遊子▽JF和気◎佐賀玄海▽JF佐賀げんかい◎長崎県▽志岐地区漁業士会◎大分県▽JFおおいた長洲工場

忠岡代表理事組合長勝元伊一郎/JF春木代表理事組合長石田茂/JF岸和田市代表理事組合長永野勝之/大阪府福井市着網漁業協同組合代表理事組合長岡修/JF大阪府代表理事組合長北村英一郎/JF堺市浜寺代表理事組合長宮田鐵男/JF高石市代表理事組合長樋川忠司/JF北中代表理事組合長角野隆夫/JF尾崎代表理事組合長佐藤保/JF泉佐野/茅渚の海代表者田中映治/第23回鳥羽一郎海難遺児チャリティ募金◎山口県▽JF山口県女性部◎愛媛県▽JF愛媛県女性連―JF全国女性連経由

2、一般寄附 (3月)◎北海道▽こんぶもり年金友の会▽JF頓別▽彦野哲一▽北海道小樽水産高等学校◎青森県▽水産八戸新年祝賀会実行委員会◎岩手県▽釜石海上保安部▽JF岩手県女性連◎山形県▽JF山形県女性部◎福島県▽福島県立いわき海星高等学校◎茨城県▽(国研)水産総合研究センター水産工学研究所神栖庁舎(本所)▽JF茨城県女性連◎埼玉県▽小野沢通◎千葉県▽山本義樹―ご尊父様逝去に際し香典返しの一部として▽飯村久子◎東京都▽ニチレイふれあい基金▽(一社)全国底曳網漁業連合会◎(株)トータルウェル▽魚菜団体「さかなの会」運営委員会▽三水会▽全国青年・女性漁業者交流大会募金▽Fish Hillグランプリ募金◎神奈川県▽(国研)水産総合研究センター中央水産研究所横浜庁舎(本所)▽神奈川県立海洋科学高等学校◎富山県▽JFくるべ―自販機売上一部―(株)ワンハート経由◎岐阜県▽大城バナサ◎静岡県▽静岡県立焼津水産高等学校◎愛知県▽JF豊浜◎兵庫県▽伊藤嘉明―ご尊父様逝去に際し香典返しの一部として◎奈良県▽川邊一郎◎鳥取県▽浜野茂夫◎佐賀県▽佐賀県有明海漁協青年部◎長崎県▽マル井水産(有代表取締役井上幸宣◎鹿児島県▽JF鹿児島県女性連◎沖縄県▽JF糸満/賃)カワヒラ商会―自販機売

上一部―ダイドードリンコ(株)沖縄オフィス経由 (4月)◎山形県▽善寶寺龍王講◎埼玉県▽小野沢通◎千葉県▽JF千葉漁連木更津あさり事業所/JF富津―自販機売上一部―コカ・コーライーストジャパン(株)(利根)木更津支店経由▽飯村久子◎東京都▽榎本みつ枝▽石崎信義◎神奈川県▽乙幡眞一▽三浦市観光協会食の神祭実行委員会◎富山県▽JFくるべ―自販機売上一部―(株)ワンハート経由▽布目久幸◎鳥取県▽浜野茂夫◎福岡県▽東邦石油(株)▽(有)東邦石油販売 (5月)◎埼玉県▽小野沢通◎千

全国海難防止強調運動

7月16日から31日までの16日間、『全国海難防止強調運動―海の事故ゼロキャンペーン』(海上保安庁、公益社団法人日本海難防止協会、公益財団法人海上保安協会主催)が実施されます。この運動は、「海難ゼロへの願い」をスローガンに、官民の関係者が一体となり、海事関係者だけでなく広く国民の皆さんに海難防止への理解と意識を高めていただくことと行われるもので、本年度は、次の3つを海難防止対策の重点事項に掲げ取り組んでいます。

①小型船舶の海難防止
プレジャーボートの発航前点検の徹底
プレジャーボートによる海難は全体の4割以上を含め、特に機関故障海難については増加傾向にある。原因では、機関整備不良によるのが顕著に多いことから発航前に船体、機関等の点検を行うことの徹底を図る。

②ライフジャケットの常時着用等自己救命策の確保
海中転落した乗船者の安全を確保するために、①海上に浮く②速やかな救助要請という2点が必要不可欠であることから、プレジャーボート、漁船、遊漁船について自己救命策(ライフジャケット)常時着用、連絡手段の確保、118番等緊急電話番号の普及、確保に関する周知の徹底を図る。

重点事項1

重点事項2

重点事項3

③見張りの徹底及び船舶間コミュニケーションの促進
「見張りの徹底及び船舶間コミュニケーションの促進」

※寄附金は、全て公益目的事業である漁船海難遺児等に対する修学助成事業に使用させていただきます。

AIIS情報を活用するとともに、正しい情報を入力する



海難事故ZEROキャンペーン

大好きな海で事故をおこしてほしくないから、皆で目指そう！海難事故ゼロ。

2016年度 三時海の日 2016.7.16

重点事項1 小型船舶の海難防止
重点事項2 見張りの徹底及び船舶間コミュニケーションの促進
重点事項3 ライフジャケットの常時着用等自己救命策の確保

2016 7/16-31 全国海難防止強調運動 海難0への願い



退任挨拶



2013年4月に職員とし、また6月からは専務として3年、その間役員を始め多くの方々からお世話になり、お蔭をもちまして大過なく職責を全うすることができました。改めて辞任に際し、これまでのご協力やご支援に対し心から感謝とお礼を申し上げます。

就任挨拶



鈴木専務の後任の石山です。出身はJF全漁連で、前職は一般社団法人漁業経営安定化推進協会の理事・事務局長として国の補助事業のお手伝いを3年間勤めました。実家は北海道の岩内という町で母船式鮭鱒、日本海鱒、さんま棒受網の漁業の他、たらこやタラの珍味加工等もしていました。家族は長女、長男+カニンハムダックスフンド(雄)。素直な子供に育つてくれ嫁さんに感謝です。全漁連では築地(勝どき)にあった東京支所を振り出しに石川県小湊で販売事業、海外事業課(当時は外地課)ではコープ・新コープ丸に乗船し事務局長(パーサー)として北西太平洋でいか流網船へ

ます。本会は今年で創立46年目となります。公益目的事業である修学助成事業(奨学生への給与・貸与事業)やそれらに関する事業(貸与事業)を行う公益財団法人として、2012年4月に内閣府より認可されました。思い起こせば公益財団法人として2年目を迎えた年に着任し、理事の改選や三役の選定などの諸会議運営を、新たな法の下での様に進めるのが良いか、また定期提出書類の遊休財産算出に係る控除対照財産の計上など、悩みながら実施したことを記憶しています。その後の3年間は、公益財団法人としての経営の健全性の確保や、財務内容に見合った事業内容の改善や拡充を念頭に置いた事業の洋上補給をしたり、フォークランドでの大型イカ釣り船へ補給や帰りのパナマ運河通過時の通訳をしたりしました。また補給・入港するイカ船・巻き網船・まぐろ船の入港時のお手伝いする駐在員として乗組員さんのお世話をしたりしました。植村会長時代には秘書もし、食品表示が問題になった際にはハザード衛生管理、海苔海藻課では酸処理に係ったりと本当に貴重な経験をさせて頂きました。その間多くの先輩・同僚、漁連・漁協他取引先の方々のおかげで、これまでやってこられたものと感謝しています。今後はこれまでに支援を頂いた方々への感謝の気持ちをお返しするところも基礎(いしずえ)に漁船海難事故で被災されたご家庭の子弟の育英に少しでも尽くすことが出来ればと思っております。本会の理事長・副理事長を支え、役員・評議員の皆様のお力添えを頂き、健全な事業運営の推進に努めて参りたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

運営でした。事業資金運用が厳しくなる中、如何に事業内容を改善・拡充するか、収入に見合った事業運営等、今後どの様にしていくべきかなどを思考してまいりましたが、支えとなつたのは各団体や法人、及び一般の皆様からの継続的な支援や寄附金であり、また奨学生やそのご家族からの感謝の言葉や笑顔でした。大変ありがたく感謝しております。奨学生の皆さんには、この様な多くの応援団が全国にいらっしゃる、どうか心の片すみにも置いていただき、大志をもって学業やスポーツに励み、多くの良き友人ができることを、願っております。

都道府県別奨学生数

(2016年6月末現在/単位:人)

Table with columns for Prefecture, Student Type (Infant, Elementary, Middle, High, etc.), and Total. Lists 47 prefectures and their respective numbers of students.

*給与奨学生には特別支援学生を含む。
*貸与奨学生には入学一時金のみ奨学生を含む。
*休学中の奨学生は人数に含まない。
*2014年度第4回採用者は内数である。

お知らせ

ゆび募金(募金型自動販売機)による
2016年4月末までの(2007/6エントリー)
寄附金累計額は
1,312,947円
です。
ご協力ありがとうございました。
※ゆび募金に関するお問い合わせは事務局まで



追悼

5月12日、神奈川県横須賀市観音崎公園内「戦没船員の碑」にて、(公財)日本殉職船員顕彰会主催『第46回戦没・殉職船員追悼式』が行われ、梶山次長が参列致しました。
また、6月11日、和歌山県高野山大学「黎明館(れいめいかん)」



高野山の杉の木々

編集後記

皆様から提出していただいた進路報告をみて、高卒で就職する方より、進学する方が大半を占めている。私自身も専門学校へ当然の様に進学したくちだが、いざ親の立場になってみると入学金や授業料のプレッシャーに押しつぶされそうになる。何も言わずに(多少小言は言われたが...)進学させてくれた親には感謝である。
▼皆さんの近況報告もお待ちしております。